

研究課題番号	5-2302
研究課題名	データ非依存型取得法による環境汚染物質の定量デジタルアーカイブ手法の開発
研究実施期間	令和5年度～令和7年度
研究機関名	国立環境研究所
研究代表者名	中島 大介

1. 評価結果

価ランク：A

2. 委員の指摘及び提言概要

多成分一斉分析方法である AIQS-LC の確立に向けて、国内の研究協力体制・ネットワークを活用し研究計画は順調に進んでいる。ポジティブ測定に加え、ネガティブ測定での標準化に向けた条件検討が進み、保持指標の導入などいくつかの点で当初計画以上の進展も認められる。PFAS データの組み込みなども実施されており、環境行政上の貢献度は大きいものと評価できる。他方、現状では特定の装置に限定する必要があるようだが、AIQS-GC の場合のように、そのような制限が早期に取り除かれることが望まれる。また、標準化等のアプローチにおいては戦略的に進めることが求められるので、国際的な活動にも積極的に取り組むことを期待したい。